

平成 30 年 3 月 22 日

会員各位

一般社団法人日本病理学会 事務局

**「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」の送付について（お詫び）**

平素は当学会事業にご尽力いただき、御礼申し上げます。

さて、このたび「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」の冊子が完成しましたので、会員及び学会認定施設・登録施設宛にお送りいたしました。この規程をがんゲノム診療に広くご活用いただけましたら幸いです。

また、各施設への送付の際、手違いにより挨拶状（2 ページ目をご参照下さい）が同封されず、冊子のみの送付となってしまいました。ここに手違いをお詫び申し上げますとともに、関係者におかれては、ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、冊子完成に伴い、近日中に学会ホームページの本規程紹介ページもリニューアルする予定です。ぜひこちらもご覧いただければと存じます。

お問い合わせ：日本病理学会事務局 菊川・三木  
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-2-5 聖堂前ビル 7 階  
TEL 03-6206-9070 FAX 03-6206-9077  
E-mail [jsp-admin@umin.ac.jp](mailto:jsp-admin@umin.ac.jp)

平成 30 年 3 月

日本病理学会  
認定施設・登録施設  
病理部門責任者各位

一般社団法人日本病理学会  
理事長 深山 正久  
ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程  
WG 委員長 小田 義直

謹啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、一般社団法人日本病理学会におきましては、一昨年、ゲノム等オミックス研究に適した質の高い病理組織検体のバイオバンキングを目指し『ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程』を策定いたしました。これに続き本学会では、ゲノム診断検討委員会および医療業務委員会の連携のもとワーキンググループを設置し、今後日常診療下での実施が想定されるがんゲノム診断での使用に耐えうる病理組織・細胞検体に関する『ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程』（以下、診療用規程）を策定し、2017年9月に初版（暫定版）を公表いたしました。今般初版（確定版）への更新と併せまして、冊子が完成致しましたので、同封させていただきます。

本診療用規程は、質の高い複数の国内ゲノム臨床研究プロジェクトなどから得られた実証データ解析に基づいて作成されたものです。今後、本格化するがんゲノム診療における病理組織検体の取扱方法やその留意点を具体的に記述してありますので、貴施設におきまして検体採取に従事される臨床医に広くご覧頂きたく、複数冊を送付させていただきました。大変お手数をおかけいたしますが、病理部門責任者の先生方から各診療科へご配布いただき、院内での検体品質に関する取り組みの一助としていただけましたら幸いです。

本規程を、がんゲノム診療の最適化のためにご活用下さいますように、どうぞ宜しくお願い致します。

敬白